

南三陸町生ごみ再資源化事業における ナッジを活用した LINE 公式アカウントの 効果検証

安藤ゼミ 小橋柚香

目次

■ 第1章 序論

- 第1節 国によるバイオマス産業都市の促進と
実際の自治体の取り組み
- 第2節 南三陸町での生ごみ再資源化事業
- 第3節 南三陸町における生ごみ回収量増加の
ためのICT活用と介入実験
- 第4節 ナッジ理論とその日本での広がり
- 第5節 ナッジの効果検証やゴミ捨て行動への
介入実験に関する先行研究
- 第6節 本研究の目的

■ 第2章 南三陸町民への質問紙による調査

- 第1節 目的
- 第2節 方法
- 第3節 結果
- 第4節 現地調査からの気づき
- 第5節 考察
- 第6節 今後の方針

■ 第3章 「南三陸生ごみ再資源化ミッション」LINE公式 アカウント内でのアンケートの結果分析による調査

- 第1節 目的
- 第2節 方法

- 第3節 結果
- 第4節 考察

■ 第4章 「南三陸生ごみ再資源化ミッション」LINE公式 アカウントサービス終了時の結果分析による調査

- 第1節 目的
- 第2節 方法
- 第3節 結果
- 第4節 考察

■ 第5章 総合考察

- 第1節 南三陸町におけるLINE公式アカウント活用の課題
- 第2節 「南三陸生ごみ再資源化ミッション」LINE
公式アカウントの優れている点
- 第3節 生ごみ回収・再資源化事業への評価と課題
- 第4節 LINEアカウントの機能に関する提案
- 第5節 LINE以外の取り組みによる
生ごみ分別・回収促進方法の提案
- 第6節 総括

引用文献

- 付録1 予備調査質問紙
- 付録2 「南三陸生ごみ再資源化ミッション」LINE
公式アカウントの実際のトーク画面

問題関心

■「バイオマス事業化戦略」（農林水産省,2012）

- 地域のバイオマスを活用した自立・分散型エネルギー供給体制の強化
- 高度な資源循環を行う地域「バイオマス産業都市」を増やす取り組み

■南三陸町での生ごみ再資源化事業

- 震災からの復興計画の主軸として着手し、
2014年にバイオマス産業都市に選定
- 2015年10月にバイオガス施設
「南三陸BIO」を開設
- 町内から排出される生ごみ等から
バイオガスと液体肥料を生成



問題関心

■ 「南三陸生ごみ再資源化ミッション」LINE公式アカウント導入

- 生ごみ回収量増加を目的とし、2022年11月より
NECソリューションイノベータがプロジェクトを実施
- ナッジを利用

■ 広がる「ナッジ理論」

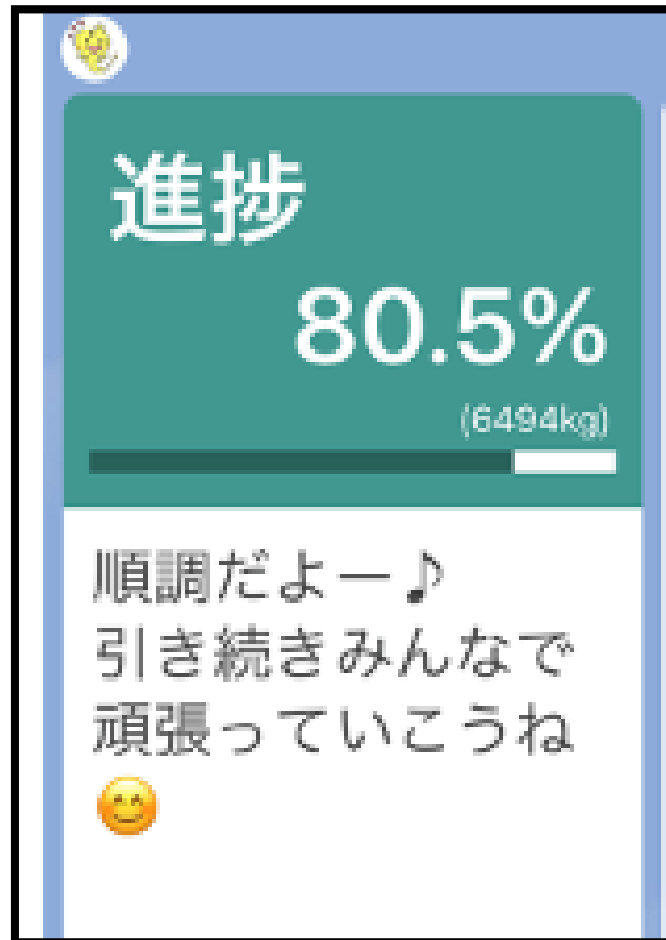
- システムやプロセスを一から構築するのではなく、新しい行動や既存のプロセスの変更により課題解決に導く。費用対効果も高い。
- 環境省主催の「ベストナッジ賞」コンテストが2018年度より開催

問題関心

■「南三陸生ごみ再資源化ミッション」LINE公式アカウント内の機能



回収量の
目標通知



進捗の配信



地区ごとの
結果配信

研究の目的

南三陸町生ごみ再資源化事業における、
生ごみ回収量増加のための
ナッジを活用したLINE公式アカウントの効果を検証する

LINE公式アカウントが
環境配慮行動促進ツールとして
効果的に機能するために必要な改善点を案出する

南三陸町民への質問紙による調査

■調査時期

2023年2月23日、同年2月24日

■調査場所

ウジエスーパー南三陸店

■形式

質問紙調査

■対象者

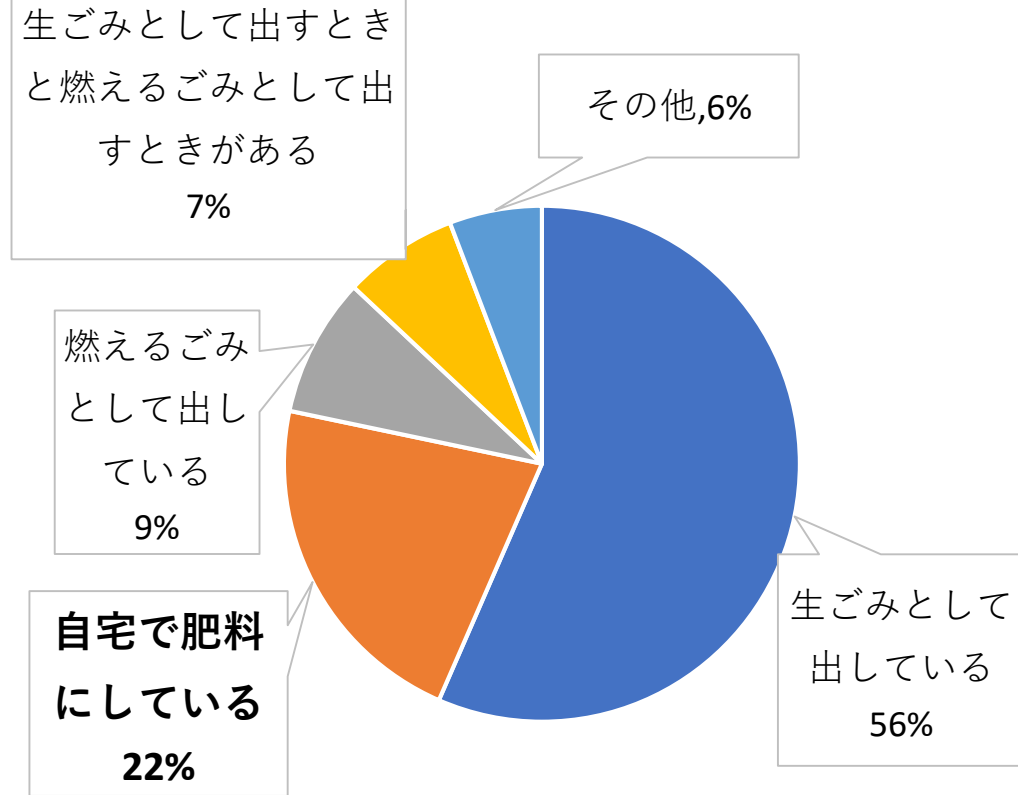
ウジエスーパー南三陸店の来店客86名、
うち町内在住者69名



結果

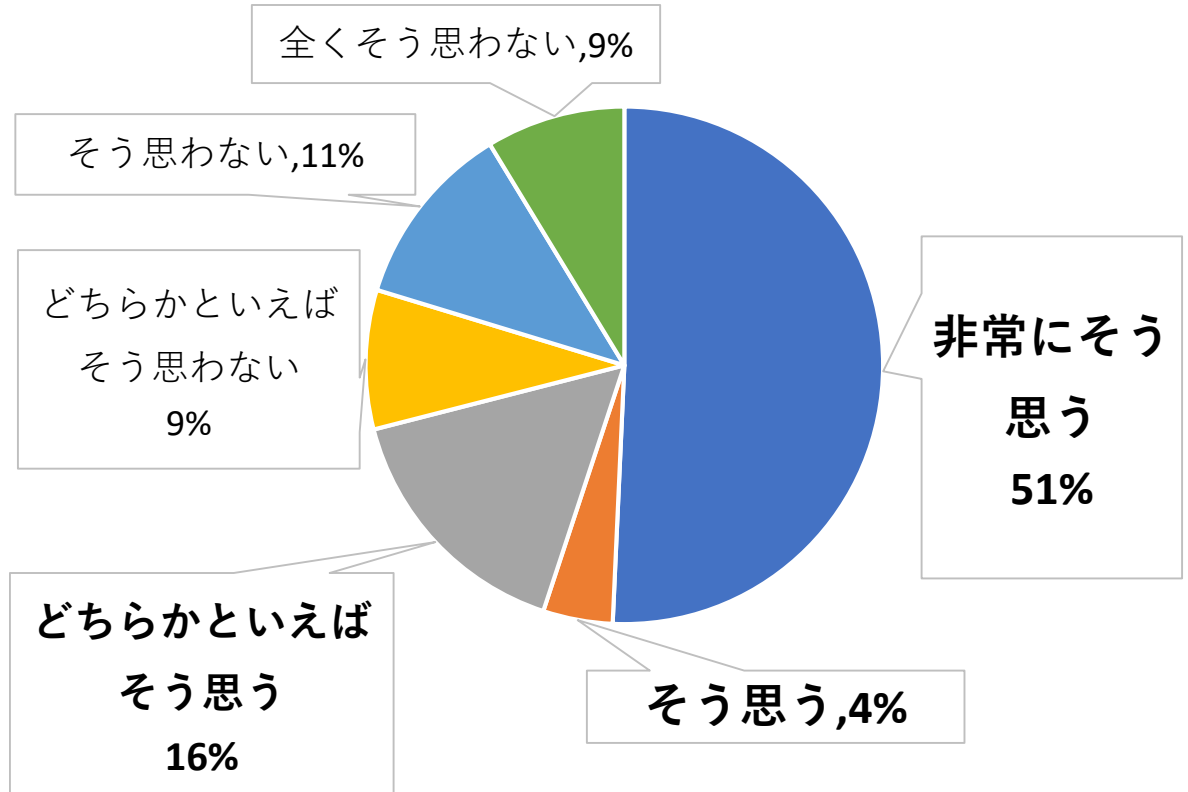
町内在住者

生ごみの分別方法



町内在住者

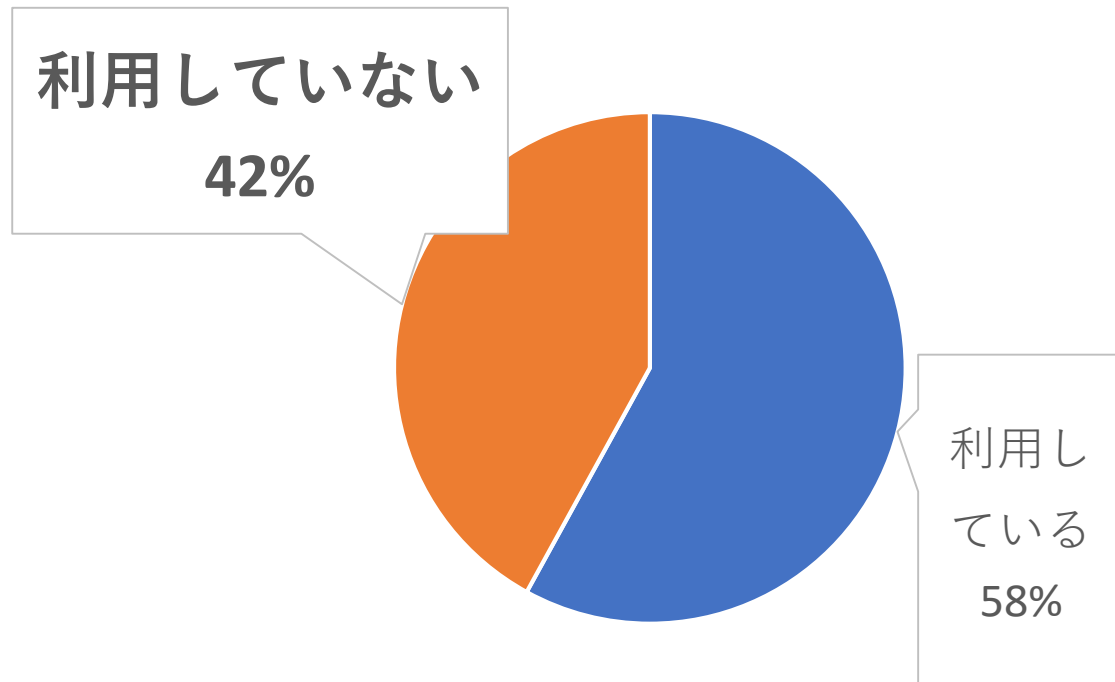
「生ごみ回収は積極的に行っている」



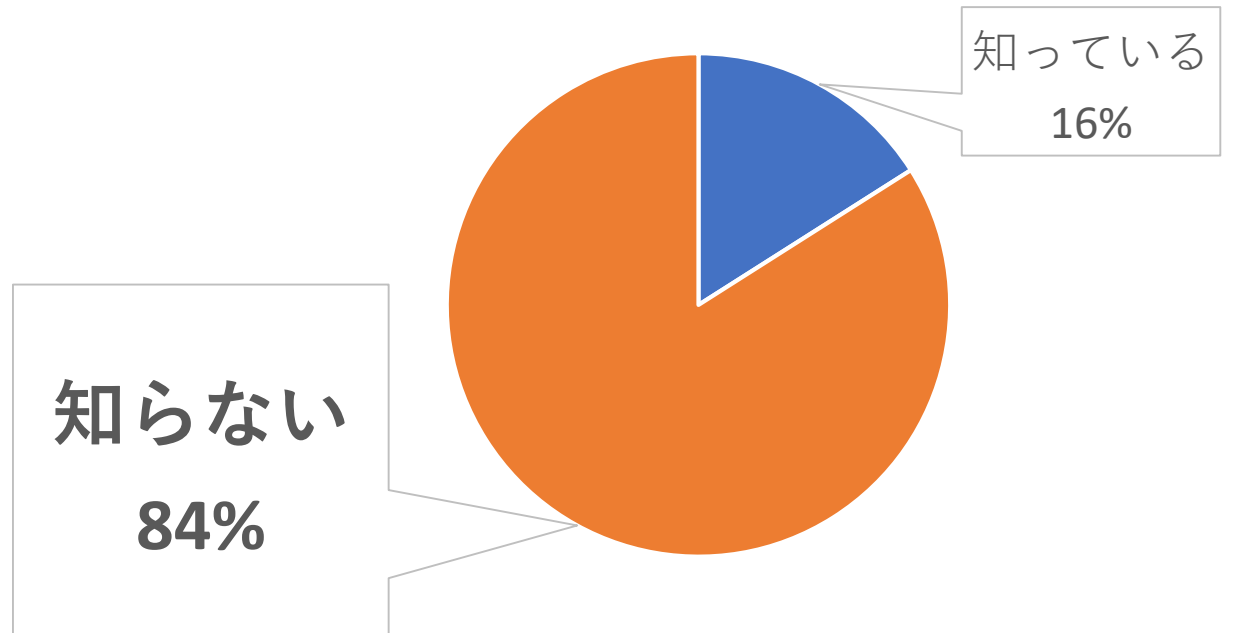
- 町内では、生ごみを肥料にして畑などで使う人が多い
- 回答者の約7割は生ごみ回収を積極的に行っている

結果

LINEアプリを利用しているか



LINE公式アカウントを知っているか



- 南三陸町ではLINEアプリ自体が普及していない
- LINE公式アカウントの認知度が低く、浸透していない

結果

■生ごみ分別についての自由記述

「燃えるごみにする方が手っ取り早い」

「分別をわかりやすくしてほしい」

■生ごみ回収ボックスについての自由記述

「においや、ごみが見えるのが嫌」

「すぐにいっぱいになるので、ボックスを大きくするか、回収の頻度を増やすかしてほしい」

■生ごみ回収・再資源化事業についての自由記述

「資金がかかりすぎているから、協力する気になれない」

現地調査からの気づき

- 回収量の増加よりも、正確に分別することに関心がある人が多い
- 処理された生ごみが資源化されていることを知らない人が多い

LINE公式アカウントサービス終了時のアンケートの結果分析による調査

■目的

LINE公式アカウントを利用してからの意識・行動の変化や、LINE公式アカウントの機能に対する評価を調査する。

■調査時期

2023年6月1日～同年6月20日

■形式

LINE公式アカウント内でアンケートを配信

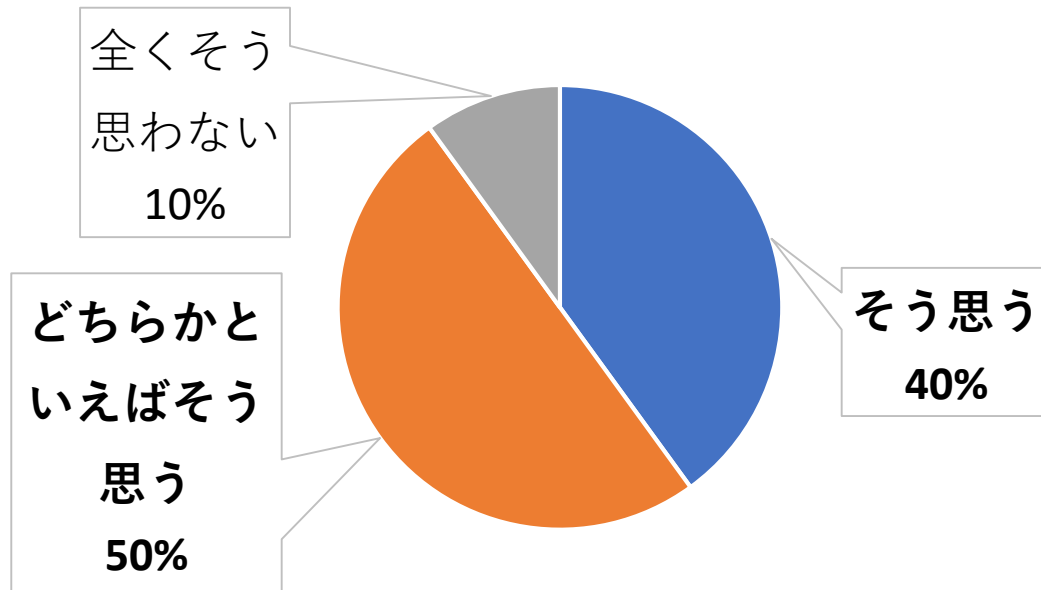
■対象者

LINE公式アカウントユーザー17名

結果と考察

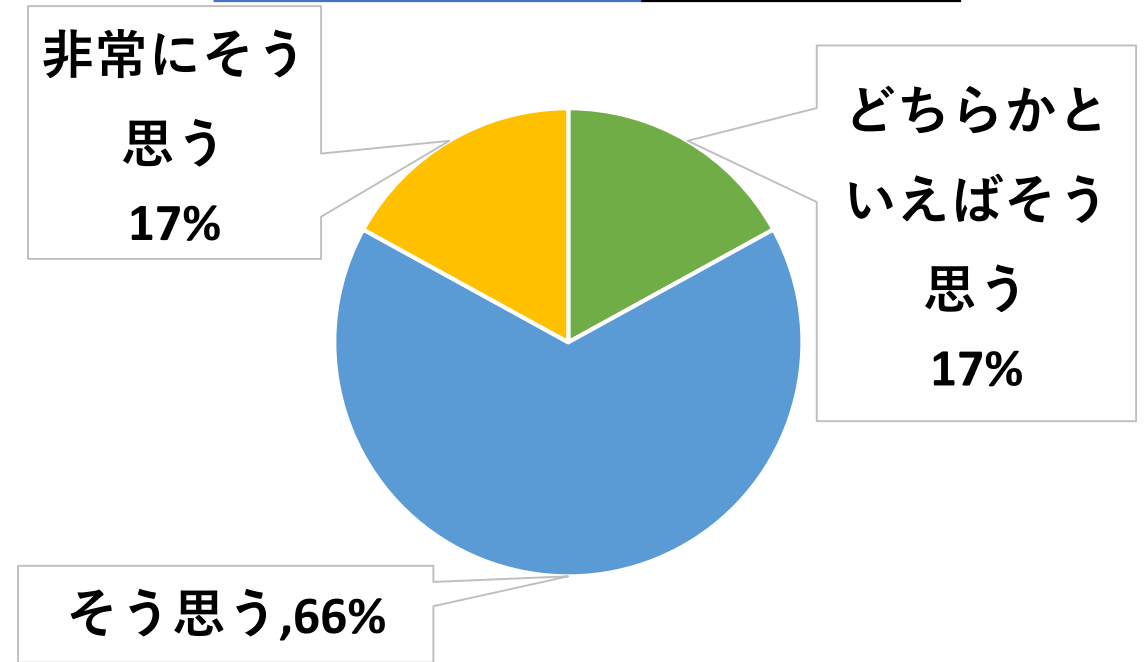
町内在住者

「以前よりも生ごみの分別・回収を積極的にするようになった。」



町外在住者

「以前よりも南三陸町への愛着がわいた。」



- 町内利用者は生ごみ分別・回収を積極的にするようになった人が90%
- 町外利用者は、南三陸町への愛着がわいた人が100%

結果

- このLINE公式アカウントについて、どんな点を改善してほしいと思いますか。あるいは、どんな機能・情報があれば良かったと思いますか。

町内

「**双方向**のやりとりや問い合わせなどができたら尚よい」

「**疑問に答えてくれる機能**、例えば『ウニの殻』と送ったら『入れてはいけません』などと回答を送ってくれとありがたい。」(3)

「どの程度の数値に達すれば、**どのような効果**があるのか詳しく知りたかった」

町外

「南三陸町の方との**交流要素**があると面白いかなと思いました。」

「液肥で作った米が給食に使われたとか、電気が何世帯分の役に立ったなどの**効果が具体的**にわかるといいと思った。」(3)

※ () 内は記述数

結果

- このLINE公式アカウントを使っていて、「便利だ」・「役立った」などと感じた点はどこですか。

町内

「集めたい生ゴミの量に対しての達成状況が**可視化**できている点は良かったと思った。」（2）

「他の地区との**競争性**が生まれ、自分ごととして日頃の生活を見直すきっかけになったと感じる。」

町外

「どれだけの生ゴミが集まったのか**数字で見られる**点。」

「生ごみ**集まってるんだな**と見えたのはおもしろいと思いました。」

「それぞれの**地区ごと**だったので頑張っているのがすごく伝わりました。」

LINE公式アカウントに追加すべき機能の提案

- 生ごみ分別の疑問に答えるチャット機能
- あとどのくらいの回収量を達成できればどれほどの資源を作り出すことができるのかなどを配信する機能
- 南三陸町内、町外の人同士で簡単なメッセージのやり取りができる機能
- 南三陸町の家での分別から回収、業者によるリサイクルなどの資源化の流れを動画などにまとめて配信する機能

引用文献

環境省.(2023) . 「ベストナッジ賞」コンテスト2023を開催します！ ～行動経済学会とのコラボレーション企画～ 環境省 Retrieved January 14, 2024 from

https://www.env.go.jp/press/press_01986.html

南三陸町.(2013) . 南三陸町 バイオマス産業都市構想 南三陸町 Retrieved November 21, 2023 from

<https://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/index.cfm/8,6273,c,html/6273/20141105-143604.pdf>

農林水産省.(2023) . 令和5年度バイオマス産業都市構想の提案を募集 農林水産省 Retrieved January 14, 2024 from

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/r_energy/230615.html